# 2024年度募集　CRONOS　研究開発提案書

機密性2

(様式1)

※本様式の書式設定、スタイル設定は、原則変更しないでください。カラーの図・文字は使用可能です。

※本文のフォントサイズは【10.5ポイント以上】を厳守してください。

※青字の記入要領は、このヘッダー部分も含めて提出時に削除してください。

※ファイル容量は3MB以内を目途に作成ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 応募する領域 | 中尾領域（主として情報通信分野）　　　 川原領域（主として情報処理分野）  *※どちらか1つを選択してください。* |
| グランドチャレンジ | アイテムを選択してください。  *※グランドチャレンジをプルダウンで選択してください。*  *※グランドチャレンジ詳細は募集要項をご確認ください。*  *※GC00を選択した場合は次ページに名称・概要をご記載ください。* |
| 技術カテゴリー  （複数選択可） | TC1：通信サービス  TC2：情報通信基盤  TC3：ネットワークセキュリティ  TC4：デバイス・通信方式  TC5：情報サービス 　　 TC6：情報処理基盤  TC7：情報セキュリティ  TC8：デバイス・計算方式  *※提案内容において、オリジナリティが高い、または研究開発の重心が置かれている技術カテゴリーを選択してください（複数選択可）。*  *※技術カテゴリー詳細は募集要項をご確認ください。* |
| 研究開発課題名 | *※20文字程度* |
| 研究開発期間 | 2024年　10月～　　　年　　月（　　　年間） |
| 希望する研究開発費  （直接経費）  **※基盤研究の費用のみ** | 全期間での基盤研究費総額　　　　　　（　　　　　　千円） |
| 研究開発代表者氏名 | 市ヶ谷　太郎 |
| 所属機関･部署･役職 | ◯◯大学大学院◯◯学系研究科　教授  *※「大学院 ○〇研究科 ○○専攻 」「特任 准教授」等、略さず正しくご記入下さい。* |
| 最終学歴 | 20XX年 ◯◯大学大学院◯◯研究科博士課程○○専攻修了  (指導教官：○○○○教授)  *※指導教官名は記入必須です。* |
| 研究歴  (主な職歴と研究内容) | 20XX年～20XX年 ◯◯大学◯◯学部 助手  ○○教授研究室で◯◯◯◯◯について研究  20XX年～20XX年 ◯◯研究所 研究員  ○○博士研究室で◯◯◯に関する研究に従事  20XX年～20XX年 ◯◯大学◯◯学部 教授  ◯◯◯について研究  *※考慮すべきライフイベント（出産・育児・介護等）の期間があれば、記載してください。（過去の研究実績に影響があったなどの理由で評価者に伝えたい場合のみ記載してください。）* |
| 研究者番号 | XXXXXXXX  *※府省共通研究開発管理システム(e-Rad)より付与された8桁の研究者番号を記載してください* |
| 研究開発代表者  の情報 | URL：  *※researchmapのURLを記入してください。なければ、研究開発代表者情報を収載している研究室ウェブサイト等のURLを記入してください。* |

|  |  |
| --- | --- |
| GC00（その他）の  名称・概要 | ・GC00（その他）を選択した場合  名称：  *※50文字以内で記載してください。*  概要：  *※どのような常識に対する挑戦であるか、また、どのような社会問題に対してインパクトをもたらすのか等、概要を記載してください（500文字程度）。*  *※募集要項巻末に掲載されている常識‐挑戦の事例リストも参考にしてください。* |

***※表紙は2ページ以内で記載ください。***

## 研究開発提案の要旨

(様式2)

***※移行研究を含めた研究開発提案の要旨を1ページ以内で記載ください。***

*※e-Rad基本情報「研究概要」部分には、「研究開発提案書を参照」とご記入ください。*

## 研究開発課題の全体構想

(様式3-1)

※募集要項第2章「2.9 選考の観点」及び募集要項第6章「募集対象となる領域およびグランドチャレンジ」もあわせて必ずご確認ください。

**※全体で6ページ以内にしてください。**

### 選択したグランドチャレンジに対する挑戦

※選択した（あるいは記載した）グランドチャレンジに関連する、既存の技術常識と、その常識への挑戦を記載してください。(500字以内)

### （基盤研究＋移行研究）研究開発期間内での達成目標

※基盤研究と移行研究全体を含めて、グランドチャレンジを見据えて研究開発期間内で達成を目指す目標を記載してください。（500字以内）

### 基盤研究

### 3-1．（基盤研究）研究開発計画

※前項で定めた目標を達成するための研究のアプローチ・進め方を記載してください。

### 3-2．（基盤研究）研究開発の独自性・優位性

※以下について判断できるように記載ください。

* 従来技術の延長ではない挑戦的な技術内容であり、科学技術の飛躍的な発展があること。
* 国内外の研究開発動向を踏まえ、提案が優位性・独自性を有すること。

### 3-3．（基盤研究）研究開発実施の準備状況

※本構想を推進する基盤となる、以下の点について具体的に記述してください。

* 研究開発代表者自身(および必要に応じて、主たる共同研究者・研究参加者)のこれまでの研究の経緯と成果
* その他の予備的な知見やデータ等（存在する場合）

※本提案と関連する準備状況を記入ください。

### 移行研究

### 4-1．（移行研究）研究開発実施に向けた構想（任意）

※どのように概念実証を実施しようと考えているのか、構想を記載してください。想定で構いません。

※移行研究の開始時期の想定についても記載してください。

### 4-2．（移行研究）想定する社会インパクト（任意）

※技術の確立によって、誰にどう役立つのか想定を記載してください。

### その他

### ・研究データ等のマネジメント方針

*※研究データの管理・利活用に関する取り組みを記載してください。*

**・知的財産権、オープンソース化、標準化等に関する取り組み**

*※特に上記について重要な取り組みを記載してください。*

*※その他重要な取り組みがあれば記載してください。*

・・・ 様式3-1は、ここまでで図表含め6ページを超えないこと ・・・

## 基盤研究の体制及びスケジュール

(様式3-2)

**※全体で2ページ以内にしてください**。

### 1．基盤研究の実施体制

※基盤研究の実施にあたって、研究開発開始時に想定している体制を記載してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **グループ名** | **研究開発代表者または主たる共同研究者の氏名** | **研究開発代表者または**  **主たる共同研究者の**  **所属機関・部署・役職名** | **研究開発題目（20字程度）** |
| ◯◯グループ  ※〇〇（研究開発代表者の姓）グループ | ◯◯　◯◯ | ◯◯大学大学院◯◯学系研究科　教授 | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○の開発  ※20字程度でグループの研究開発題目を記述してください。この記載は、様式4-1,4-2の「基盤研究の研究開発題目」にも用いてください。 |
| △△グループ  ※△△（主たる共同研究者（１）の姓）グループ  ※様式4-2以降の「共同研究グループ１」に対応 |  |  |  |
|  |  |  |  |

*＜研究開発体制の記載に関する注意点＞*

* *原則としてJSTは研究開発題目ごとに研究開発代表者または主たる共同研究者の所属機関と委託研究契約を締結し、研究開発代表者と主たる共同研究者が研究開発費の配分を受けられます。*
* *研究開発費を執行する必要のある共同研究者は、主たる共同研究者として研究開発体制に加えてください。*

### 2．基盤研究スケジュール

*※具体的なスケジュールとマイルストーンについて、線表で示してください。*

*※下記の例を参考に研究の主なスケジュールを記入してください（例は研究期間が5.5年）。*

*※研究実施項目中に記載するグループ名は前項「１．基盤研究の実施体制」で記載したグループ名としてください。*

*※研究項目が複数ある場合は、できるだけ項目別のスケジュールや分担者が分かるように記入してください。*

*※矢印の位置、長さ、太さは自由に変更してかまいません。*

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究実施項目 | 2024  年度  (6ヶ月) | | 2025  年度 | | 2026  年度 | | 2027  年度 | | 2028  年度 | | 2029  年度  (12ヶ月) | |
| **１．** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・  （　　グループ） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・  （　　グループ） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **２．** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・  （　　グループ） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・  （　　グループ） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **３．** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・  （　　グループ） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・  （　　グループ） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・  （　　グループ） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

## 研究開発実施体制1

(様式4-1)

(研究開発代表者グループの研究実施体制)

**※全体で2ページ以内にしてください。**

#### 研究開発代表者グループ（○○グループ）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **研究開発**  **代表者氏名** | **研究機関名**1) | **役職** | **エフォート**2) |
| ○○　○○ | ○○大学　大学院◯◯研究科 ○○専攻 | 教授 | 40％ |
| 研究者番号3)：12345678  研究機関コード4)：1234567890 | |
| **研究開発**  **参加者氏名**5,6) | **所属**(上記と同じ場合には省略) | **役職** | |
| ○○　○○ |  | 教授 | |
| ○○　○○ |  | 准教授 | |
| ○○　○○ |  | 講師 | |
|  |  |  | |

1) 現在の所属機関と採択後研究開発を実施する機関が異なる場合には、研究開発を実施する機関を記載いただき、特記事項にて事情をお知らせください。

2) エフォートには、研究者の年間の全仕事時間(研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む)のうち、当該研究開発の実施に必要となる時間の配分率(％)を記入ください。

3）　府省共通研究開発管理システム(e-Rad)へ研究者情報を登録した際に付与される8桁の研究者番号を記載ください。

4）　所属先の府省共通研究開発管理システム(e-Rad)所属研究機関コードを記載ください。

5) 研究開発グループの構成メンバーについては、その果たす役割等について十分ご検討ください。

6) 研究開発参加者の行は、必要に応じて追加してください。提案時に氏名が確定していない研究員等の場合は、「研究員 ○名」といった記載でも結構です。

※ 同じ研究開発題目を複数の組織で取り組む必要があれば、研究参加者として、異なる組織のメンバーを加えていただいても構いません。ただしその場合は、JSTと契約を締結する研究開発代表者の所属機関が研究開発費の管理を行えることが必須です。個別にJSTと契約して研究開発費を執行する必要がある場合は、別の共同研究グループとして記載してください

##### **○ 基盤研究実施項目及び概要**

**・基盤研究の研究開発題目**

※様式3-2の「基盤研究の実施体制」の表の記載と同一の研究開発題目名を記入してください。

**・基盤研究の実施項目**

※様式3-2の「基盤研究スケジュール」に対応する研究実施項目名を記入してください。

**・基盤研究の目的および内容**

※研究開発代表者グループが担当する研究開発の概要を簡潔に記入してください。

**・構想における当該グループの役割**

※自らの研究開発構想を実現するために研究開発代表者グループが果たす役割等を記入してください。

##### **・特記事項**

※特別の任務等(研究科長等の管理職、学会長等)に仕事時間(エフォート)を要する場合には、その事情・理由を記入ください。

※高度研究人材育成に向けての取り組み等ありましたら記入ください。

## 研究開発実施体制2

(様式4-2)

(共同研究グループの研究実施体制)

※研究開発代表者の所属機関内あるいは他の研究機関等に所属する共同研究グループが必要な場合、グループごとに記載ください。JSTと委託研究契約を締結し、研究開発費の配分を行う予定の共同研究機関は全て記載ください。

※共同研究グループの数に上限はありませんが、研究開発代表者の研究開発構想の遂行に最適で必要十分  
なチームを編成してください。研究チームに共同研究グループを加えることは、必須ではありません。

※研究開発開始時点の共同研究グループ分を記載してください。

**※1つの共同研究グループあたり2ページ以内としてください。**

#### 共同研究グループ(1)　　(○○グループ）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **主たる共同研究者**  **氏名** | **共同研究機関名**1) | **役職** | **エフォート**2) |
| ○○　○○ | ○○研究所　○○部門 ○○チーム | チームリーダー | 10％ |
| 研究者番号3)：12345678  研究機関コード4)：1234567890 | |
| **研究開発参加者**  **氏名**5,6) | **所属**(上記と同じ場合には省略) | **役職** | |
| ○○　○○ |  | 主席研究員 | |
| ○○　○○ |  | 研究員 | |
| 2名雇用予定 |  | 特別研究員 | |
|  |  |  | |

1）～6） 前ページをご参照ください。

※ 同じ研究開発題目を複数の組織で取り組む必要があれば、研究参加者として、異なる組織のメンバーを加えていただいても構いません。ただしその場合は、JSTと契約を締結する研究開発代表者の所属機関が研究開発費の管理を行えることが必須です。個別にJSTと契約して研究開発費を執行する必要がある場合は、別の共同研究グループとして記載してください

##### **○ 基盤研究実施項目及び概要**

**・基盤研究の研究開発題目**

※様式3-2の「基盤研究の実施体制」の表の記載と同一の研究開発題目名を記入してください。

**・基盤研究の実施項目**

※様式3-2の「基盤研究スケジュール」に対応する研究実施項目名を記入してください。

**・基盤研究の目的および内容**

※本共同研究グループが担当する研究の概要を簡潔に記入してください。

**・構想における当該グループの役割**

※研究開発代表者の研究開発構想を実現するために本共同研究グループが必要不可欠であることの理由、位置づけ等を記入してください。

##### **・特記事項**

※特別の任務等(研究科長等の管理職、学会長等)に仕事時間(エフォート)を要する場合には、その事情・理由を記入ください。

※高度研究人材育成に向けての取り組み等ありましたら記入ください。

### ・（海外グループのみ）当該研究者・研究機関でなければ研究実施が困難である理由：

* *CRONOSの提案にあたっては、海外の研究機関に所属する研究者にJSTからの研究費の提供はできません。すなわち、海外の研究機関に所属する研究者を主たる共同研究者にすることは原則できません。海外の研究機関を含む研究チーム構成を希望される場合には、本項に海外の研究機関に所属する共同研究者が必要であることの理由を記載してください。（書類選考においてPOの承認をとります。）*
* 研究構想を実現する上での必要性
* 海外研究機関でなければ研究実施が困難となる理由（設備・環境等）

### ・（海外グループのみ）契約締結に至らなかった場合の当該グループとの連携案：

* *JSTからの研究費提供を想定している提案において、契約締結に至らなかった場合の当該グループとの連携案を本項に記載してください。*

### ・（海外グループが含まれる場合のみ）安全保障貿易管理規程整備の状況：

* *研究代表者グループ及び国内の共同研究グループの安全保障貿易管理に係る規程の整備状況について記載してください。*

## 研究開発予算計画（基盤研究）

(様式5)

**※基盤研究の費用のみ記載してください（移行研究の費用は記載しないでください）。移行研究の費用は採択された場合に限り、プログラム内募集を行います。**

**※直接経費の年間額は上限27,000千円を目途として記載してください。**

**※上記の費用に加えて、初期環境整備等に必要な費用として初年度（2024年度）は8,000千円、2年度目は4,000千円を上限に追加で申請することが可能です。**

**※従って、初年度の上限は35,000千円、2年目の上限は31,000千円、3年目以降の上限は27,000千円となります。総額の上限は174,000千円です。**

※面接選考の対象となった際には、さらに詳細な研究開発予算計画を提出していただきます。

※研究開発費は、本プログラム全体の予算状況、プログラムオフィサーによる領域としてのマネジメント、課題評価の状況等に応じ、採択時や研究開発期間の途中に見直されることがあります。

### 1．チーム全体の研究開発費計画（費目別）

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **初年度**  (2024.10～2025.3) | **2年度**  (2025.4～2026.3) | **3年度**  (2026.4～2027.3) | **4年度**  (2027.4～2028.3) | **5年度**  (2028.4～2029.3) | **6年度**  (2029.4～2030.3) | 合計  （千円） |
| **設備備品費** |  |  |  |  |  |  |  |
| **消耗品費** |  |  |  |  |  |  |  |
| **旅費** |  |  |  |  |  |  |  |
| **人件費・謝金**  **(人件費を支出する研究員の数)** | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) |  |
| **その他** |  |  |  |  |  |  |  |
| **直接経費 計** |  |  |  |  |  |  |  |

※研究開発費の費目と、その使途は以下のとおりです。

* 設備備品費：設備や備品を購入するための経費
* 消耗品費：消耗品を購入するための経費
* 旅費：研究開発代表者や研究参加者の旅費
* 人件費・謝金：研究員・技術員・研究補助員、RA※等の人件費、謝金（※RA(リサーチアシスタント)については募集要項第4章「4.13 博士課程学生の処遇の改善について」をご参照ください。）

##### **◯ 特記事項**

※最適な費目毎の予算額・比率となるようご検討ください。

*※多額の人件費や旅費が必要な場合等、特に説明が必要な事項があれば記入してください。*

### 2．グループ別の研究開発費計画

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **初年度**  (2024.10～2025.3) | **2年度**  (2025.4～2026.3) | **3年度**  (2026.4～2027.3) | **4年度**  (2027.4～2028.3) | **5年度**  (2028.4～2029.3) | **6年度**  (2029.4～2030.3) | **合計**  **（千円）** |
| **○○グループ** |  |  |  |  |  |  |  |
| **△△グループ** |  |  |  |  |  |  |  |
| **□□グループ** |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| **直接経費 計** |  |  |  |  |  |  |  |

##### **◯ 購入予定の主要設備（1件10,000千円以上）**

※新たに導入する予定の研究設備・装置等について記載ください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **設備・装置名** | **概算価格（千円）** | **設置する 研究機関名** | **導入年度** | **用途** |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

##### **◯ 特記事項**

※何か補足すべき事項があれば記載ください。

## 業績リスト・過去の実績

(様式6-1)

### 1．研究開発代表者

*※研究開発提案者が本研究開発提案を遂行するための手がかりを有していること、並びに研究チームの責任者として研究開発全体に責務を負い、研究チームを牽引・マネジメントする能力があることについて、研究実績に基づき説明してください。*

*※学術論文、著書、国際会議のプロシーディングス、主要な国際会議の招待講演、受賞、特許、ライセンス、起業、データセット、ソフトウェア、標準化、過去の研究代表の実績そのほか提案者の研究分野や提案内容に関連する実績や成果を記載してください。提案内容との関連性が高いもの、近年のものを優先的に記載してください。*

*※実績・成果の重要性、提案者の役割等について簡潔な説明を加えてください。事実に基づき、できるだけ客観的、定量的な説明となるようにしてください（JIFやh-index等の記載を求めるものではありません）。*

*※学術論文の場合は論文名、著者名（全著者を記載し提案者に下線）、掲載誌名、巻号や頁等、発表年（西暦）、著書の場合はその書誌情報など、既に掲載されているもの又は掲載が確定しているものに限って記載してください。著者は、T.Gijyutsu等と略記して構いません。*

*※プレプリントは発表年の後に（プレプリント）と記入ください。*

*※特許は出願番号・発明者・発明の名称・出願人・出願日を記載してください。*

***※10件以内かつ3ページ以内としてください。***

### 2．主たる共同研究者

#### *※主たる共同研究者は、全員で、合計で10件以内かつ2ページ以内としてください。*

(様式6-2)

*※実績の記載方法は「1.研究開発代表者」と同様にしてください。*

他制度での助成等の有無

(様式7)

※研究開発代表者および主たる共同研究者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の競争的資金制度やその他の共同研究費・研究助成等(民間財団・海外機関を含む)（＊）について、研究課題ごとに、資金制度名もしくは研究費名、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォートを記入ください。募集要項「4.2 不合理な重複・過度の集中に対する措置」もご参照ください。

（＊）応募に当たっては、「統合イノベーション戦略2020」において「外国資金の受入について、その状況等の情報開示を研究資金申請時の要件」とすることとされたことを踏まえ、「他制度での助成等の有無」の様式に海外からの研究資金についても記入することを明確にしています。国内外を問わず、競争的資金のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費等の研究資金について全て記載ください。

※記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

※現在申請中・申請予定の研究助成等について、この研究開発提案の選考中にその採否等が判明する等、本様式に記載の内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、募集要項巻末等に記載された問合わせ先まで電子メールでご連絡ください。

※面接選考の対象となった場合には、他制度への申請書、計画書等の提出を求める場合があります。

#### 研究開発代表者：○○　○○

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **資金制度名**  **もしくは**  **研究費名（配分機関名）** | **受給**  **状況** | **研究課題名**  **(代表者氏名)** | **研究**  **期間** | **役割**  **(代表/**  **分担)** | **(1)本人受給研究費**  **(期間全体)**  **(2)〃(2025年度予定)**  **(3)〃(2024年度予定)**  **(4)〃(2023年度実績)** | **2024年度**  **ｴﾌｫｰﾄ**  **(％)** |
| CRONOS  （本提案） | 申請 |  | 2024.10  －  2030.3 | 代表 | (1) 174,000千円  (2) 31,000千円  (3) 35,000千円  (4) - | 40 |
| 科学研究費補助金 基盤研究(S)  （JSPS） | 受給 | ××による◇◇の創成  (○○○○) | 2020.4  －  2025.3 | 代表 | (1) 100,000千円  (2) 50,000千円  (3) 25,000千円  (4) 5,000千円 | 20 |
| 共同研究費  （○○株式会社） | 受給 | ××による◇◇の解析  (○○○○) | 2023.10  －  2025.9 | 代表 | (1) 20,000千円  (2) 7,000千円  (3) 8,000千円  (4) 5,000千円 | 10 |
| 戦略的創造研究推進事業CREST  （JST） | 申請 | ××による◇◇の高機能化  (○○○○) | 2024.10  －  2030.3 | 分担 | (1) 20,000千円  (2) 4,000千円  (3) 5,000千円  (4) - | － |

・現在受給中または受給が決定している助成等について、本人受給研究費(期間全体)が多い順に記載ください。その後に、申請中・申請予定の助成等を記載ください。

・助成等が、現在受給中または受給が決定している場合は「受給」、申請中または申請予定であれば「申請」、と記入ください。

・「資金制度名」もしくは「研究費名」は、国内の競争的研究費以外の場合、資金を配分している機関名も記載ください。

・「役割」は、代表又は分担等を記載ください。

・「本人受給研究費」は、ご本人が受給している金額(直接経費)を記載ください。

・「エフォート」は、年間の全仕事時間(研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む)のうち、当該研究の実施に必要となる時間の配分率(％)を記載ください【総合科学技術・イノベーション会議における定義による】。申請中・申請予定の助成等のエフォートは記載せず、CRONOSのみに採択されると想定した場合の、受給中・受給予定の助成等のエフォートを記載ください。CRONOSのエフォートと、現在受けている助成等のエフォートを合計して100％を超えないようにしてください。

・必要に応じて行を増減してください。

#### 主たる共同研究者（１）：△△　△△

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **資金制度名**  **もしくは**  **研究費名（配分機関名）** | **受給**  **状況** | **研究課題名**  **(代表者氏名)** | **研究**  **期間** | **役割**  **(代表/**  **分担)** | **(1)本人受給研究費**  **(期間全体)**  **(2)〃(2025年度予定)**  **(3)〃(2024年度予定)**  **(4)〃(2023年度実績)** | **2024年度**  **ｴﾌｫｰﾄ**  **(％)** |
| CRONOS  （本提案） | 申請 |  | 2024.10  －  2030.3 | 分担 | (1) 174,000千円  (2) 31,000千円  (3) 35,000千円  (4) - | 40 |
| 科学研究費補助金 基盤研究(S)  （JSPS） | 受給 | ××による◇◇の創成  (○○○○) | 2020.4  －  2025.3 | 代表 | (1) 100,000千円  (2) 50,000千円  (3) 25,000千円  (4) 5,000千円 | 20 |
| 共同研究費  （○○株式会社） | 受給 | ××による◇◇の解析  (○○○○) | 2023.10  －  2025.9 | 代表 | (1) 20,000千円  (2) 7,000千円  (3) 8,000千円  (4) 5,000千円 | 10 |
| 戦略的創造研究推進事業CREST  （JST） | 申請 | ××による◇◇の高機能化  (○○○○) | 2024.10  －  2030.3 | 分担 | (1) 20,000千円  (2) 4,000千円  (3) 5,000千円  (4) - | － |

特記事項

(様式8)

※利害関係及び利益相反の定義は、募集要項第2章「2.8.2利益相反マネジメントの実施」をご確認ください。

※領域アドバイザーリストはCRONOSのHPをご確認ください。

### 評価者との利害関係の有無

1. **研究開発代表者と評価者（プログラムオフィサー・領域アドバイザー）との利害関係の有無**
2. プログラムオフィサーとの利害関係：　有　　無

理由（利害関係がある場合）：

（例）〇〇プロジェクト（20XX年～20XX年）にて共同研究を実施しており、2.8.2(1)に定める利害関係者の要件のうち、(d)に該当する。

1. 領域アドバイザーとの利害関係：　有　　無

利害関係にある領域アドバイザー名：△△　△△

理由（利害関係がある場合）：

（例）□□プロジェクトにおいて現在共同研究を行っており、2.8.2(1)に定める利害関係者の要件のうち、(d）に該当する。

**（2） 主たる共同研究者と評価者（プログラムオフィサー・領域アドバイザー）との利害関係の有無**

（a）主たる共同研究者（１）：〇〇　〇〇（〇〇大学）

1. プログラムオフィサーとの利害関係：　有　　無

理由（利害関係がある場合）：

(例)〇〇プロジェクト（20XX年～20XX年）にて共同研究を実施しており、2.8.2(1)に定める利害関係者の要件のうち、(d)に該当する。

1. 領域アドバイザーとの利害関係：　有　　無

利害関係にある領域アドバイザー名：△△　△△

理由（利害関係がある場合）：

(例)□□プロジェクトにおいて現在共同研究を行っており、2.8.2(1)に定める利害関係者の要件のうち、(d）に該当する。

（b）主たる共同研究者（２）：△△　△△（△△大学）

1. プログラムオフィサー（評価者）との利害関係：　有　　無

理由（利害関係がある場合）：

(例)〇〇プロジェクト（20XX年～20XX年）にて共同研究を実施しており、2.8.2(1)に定める利害関係者の要件のうち、(d)に該当する。

1. 領域アドバイザーとの利害関係：　有　　無

利害関係にある領域アドバイザー名：△△　△△

理由（利害関係がある場合）：

(例)□□プロジェクトにおいて現在共同研究を行っており、2.8.2(1)に定める利害関係者の要件のうち、(d）に該当する。

### 研究開発代表者に関係する機関（研究開発代表者等の研究成果を基に設立した機関等）に所属する、主たる共同研究者の有無

研究開発代表者に関係する機関：　有　　無

当該機関の名称（主たる共同研究者名）：　株式会社○○（科学太郎）

理由（ある場合）：

（記載例）研究開発代表者の研究成果を基に設立した機関であり、2.8.2(2)に定める要件のうちa.に該当する。

### JSTの出資先企業の研究グループ参画の有無

JSTの出資先企業の参画：　有　　無

当該機関の名称（研究開発代表者名）：　株式会社○○（科学太郎）

当該機関の名称（主たる共同研究者名）：　株式会社○○（科学太郎）

### （該当者のみ）研究提案者のエフォートに関する特記事項

※研究開発提案者が特別の任務等（特定の学内・社内業務等）に仕事時間（エフォート）を要する事情などあれば記載してください。

### その他特記事項

※選考に関わる者について懸念点等ある場合は具体的に記載して下さい。

※その他異動予定等

# 提出前確認シート（提出時には削除すること）

(別紙)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 主な確認ポイント | 参照箇所 | チェック欄 |
| e-Radに研究者登録が済んでいるか（研究開発代表者だけではなく、主たる共同研究者も） | 募集要項「第5章」 |  |
| 研究倫理教育に関するプログラムを修了したか | 募集要項「第4章4.1」 |  |

**○ 提出期限について**

締切間際はe-Radのシステム負荷が高く、応募に時間がかかる、完了できない等のトラブルが発生しています。時間的余裕を十分に取って、応募を完了するようお願いします。

**○ 各様式について**

提案書については漏れがないかチェックの上、提出してください。なお、提案書に不備（ページ数の超過、査読を困難とする文字化け等）がある場合には受理いたしませんので、ご注意ください。また、提出の際はPDF 形式へ変換してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項目 | 主な確認ポイント | チェック欄 |
|  | e-Radへのデータ入力 | 記載漏れがないか。提案書は3MB以内を目途にPDF化しているか。 |  |
| 様式1 | 研究開発提案書表紙 | 記載漏れがないか。PDFに変換された状態で2ページ以内か。 |  |
| 様式2 | 研究開発提案の要旨 | PDFに変換された状態で、1ページ以内か。  10.5ポイント以上の文字で記載されているか。 |  |
| 様式3-1 | 研究開発課題の全体構想 | PDFに変換された状態で、6ページ以内か。  10.5ポイント以上の文字で記載されているか。 |  |
| 様式3-2 | 基盤研究の体制及びスケジュール | PDFに変換された状態で、2ページ以内か。 |  |
| 様式4-1 | 研究開発実施体制1 | 記載漏れがないか。2ページ以内か。 |  |
| 様式4-2 | 研究開発実施体制2 | 記載漏れがないか。共同研究グループ1チームあたり2ページ以内か。 |  |
| 様式5 | 研究開発予算計画（基盤研究） | 合計が様式1の研究費総額と合致しているか。 |  |
| 様式6-1 | 業績リスト・過去の実績(研究開発代表者) | PDFに変換された状態で、3ページ以内か。  記入要領の指示に従っているか。 |  |
| 様式6-2 | 業績リスト・過去の実績(主たる共同研究者) | PDFに変換された状態で、2ページ以内か。  記入要領の指示に従っているか。 |  |
| 様式7 | 他制度での助成等の有無 | 記載漏れ（特に「エフォート」）がないか。 |  |
| 様式8 | 特記事項 | 記載漏れ（特に評価者との利害関係）がないか。 |  |